



SOUTEN No.372

「燃ゆる感動かごしま国体」

皆様、あけましておめでと... 財団の運営に對しまして皆様方からの温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。



スポーツの価値を伝える存在へ

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井 敬

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」にも、鹿屋体育大学から多くの学生、教員の皆さんが鹿屋島県や郷土の代表選手として出場し、懸命に競う姿に大きな感動を覚えました。

皆様、あけましておめでと... 財団の運営に對しまして皆様方からの温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。

また、学生、教職員の皆さんは大会の運営やボランティアにも積極的に参加されており、スポーツを「する」だけでなく「みる」ことや「ささえる」ことの素晴らしさも経験されたことでしょう。

さて、今年の干支「辰年」はこれまで努力してきたことが実を結んで成就する年だぞうです。今年も夏季オリンピック競技大会、パラリンピック

昨年、学生の皆さんは国内外の大会で見事な活躍を見せてくれました。鹿児島県で開催された特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」



羽ばたけ 大空へ 新聞 財団 蒼天 編集：鹿屋体育大学 発行：公益財団法人鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団

令和5年度 卒業証書・学位記授与式のご案内 日時：令和6年3月25日(月) 10時30分～ 会場：鹿屋体育大学 水野講堂

新年明けましておめでと... 鹿屋体育大学を応援、ご支援いただき、誠にありがとうございます。

昨年10月には、コロナ禍による開催延期を経て、鹿児島において特別国民体育大会(かごしま国体)及び特別全国障害者スポーツ大会(かごしま大会)が開催されました。

当財団は、鹿屋体育大学及び学生の皆さんがスポーツの価値を高め、伝える存在として様々な場面で活躍するために、公益財団法人としてより一層援助できるよう、精一杯努力していく所存です。

最後にになりましたが、皆様方のご多幸を心より祈念申し上げます。

今年10月には、コロナ禍による開催延期を経て、鹿児島において特別国民体育大会(かごしま国体)及び特別全国障害者スポーツ大会(かごしま大会)が開催されました。

今年10月には、コロナ禍による開催延期を経て、鹿児島において特別国民体育大会(かごしま国体)及び特別全国障害者スポーツ大会(かごしま大会)が開催されました。

今年10月には、コロナ禍による開催延期を経て、鹿児島において特別国民体育大会(かごしま国体)及び特別全国障害者スポーツ大会(かごしま大会)が開催されました。

A.C.E. Kanoyaの育成に向けて 国立大学法人鹿屋体育大学 学長 金 久 博 昭



画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

わくわく みなさんには日ごろ意識している「ルーティン」があるだろうか。アスリートの競技前や試合中に行う動作で話題となったこの言葉は、今では様々なSNSを通じて日常の中に浸透している

画面間における第3年度となります。本学は、令和4年度に新たな時代の流れを踏まえ「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の各領域における長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定すると同時に、令和5年度前半にかけて「スポーツイノベーション推進機構」の設置を完了し、新たな研究成果及び社会連携・社会貢献の創生に向け活動を開始しました。

スポーツを愛する人たちへ (公財)ミズノスポーツ振興財団は「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は50年以上にわたります。





“ころんだら、起きればよい”の精神で

卒業生 Interview

アシックス・プレイシユア株式会社 代表取締役社長

3期生 山本 義広 さん

【Profile】

やまもと・よしひろ。1967年4月9日、宮崎県生まれ。宮崎県立日向高等学校から、鹿屋体育大学体育・スポーツ課程に進学。学生時代はラグビー部のバイスキャプテン、「体育経営管理学ゼミ」のゼミ長を務めた。1990年3月に卒業し、スポーツ用品メーカーの株式会社アシックスに入社。2021年11月、ランナー向け保険の開発、提供など保険代理店業務を行うアシックス100%子会社アシックス・プレイシユア株式会社が設立され、2022年9月に代表取締役社長に就任。

「彼はジェントルマン」。そう教えてくれたある卒業生の言葉通り、物腰がやわらかくて感じが良く、スポーツマンらしい誠実さが全身から伝わってきた。2021年に設立されたアシックスグループの新社長、アシックス・プレイシユア株式会社の社長に就任した3期生の山本義広さん。人との繋がり、縁をずっと大事にして、周りからも信頼されてきたのだと思う。何もなしどころから先輩や後輩たちと一緒に創り上げた鹿屋体育大学の日々は、自分のルーツだと振り返る。ラグビーで培った精神と、アシックス創業者の「ころんだら、起きればよい」の言葉を糧に、トップとしての責任と覚悟を胸に秘め、これからは全力疾走するのだろう。

「鹿屋体育大学に進学したのは？」
山本 高校時代のラグビーの恩師と体育の先生の勧めです。その頃は高校の体育の先生になりたかったと思っていました。地元宮崎の教員になるのがあれば九州の大学がいいし、1期生に松任谷由実の名曲「ソーサイド」のモデルになった、1984年1月の全国高校ラグビー大会の決勝大会に出場した大分舞鶴高校キャプテンの福浦孝二さんがいて、ラグビーを続けることに期待が持

た上でそれから教員という道もある。山本君にはそっちの方が合っているのでは？と、背中を押してもらったこともあったと思います。アシックスは当時これから業界トップに躍り出る可能性のある会社でしたので、最初からナンバードワン企業よりやりがいもあって面白いと感じました。入社以降、どんな仕事を手掛けていらしたのですか？
山本 一貫してスポーツマーケティングです。各競技団体のトップチームや選手に我々の商品を使ってもらい、アシックスファンを広げていくための仕事をしています。我々のブランドが選手に寄り添っているシーンを多く創っていくのが主な仕事で、2022年の東京オリンピック・パラリンピックまで携わっておりました。

アシックス創業者の鬼塚喜八郎氏が「裸足の王者」と言われたエチオピアのマラン走者アベベ・ビキラに自分の会社の靴を履かせようと尽力したエピソードが残っています。創業者の想いはずっと引き継がれているのです。
山本 現場に行くと選手の意見を聞いて、ものを直して何回もチャレンジするという創業者の「七転び八起き」の精神を、社員は会社としての言葉を、社員は自分自身の言葉で「鬼塚イズム」や「アシックススピリッツ」と呼び、今日に受け継いでいます。時代に合わせ少しずつ変えたりアレンジしたりしながらも、変わらぬ

本質をずっと引き継いでいると思います。
アシックス・プレイシユアの社長に就任して1年が過ぎました。
山本 スポーツブランドのアシックスが手掛ける保険なので、アクティブに受け止めてもらえるような保険事業をやっていると考えています。アシックスの基幹事業はランニングなので、たとえばランナーがケガをしたときにサポートできるような傷害保険など、しっかりと治してスポーツができる身体に戻してあげる場所にアシックスの価値が出てくると思っています。社会復帰までの橋渡しの存在でありたいですね。
最後に後輩たちへのメッセージをお願いします。

山本 創業者の鬼塚喜八郎は、毎年新入社員に古くから近代へと受け継がれた「スポーツマン精神の5か条」の話をしていました。鬼塚はこれに「スポーツマンは、ころんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい」という独自の言葉を付け加え、これらはスポーツマン精神の6か条として社員に受け継がれています。実行力がないと夢はかなわないし、失敗を繰り返さないで成長はない。まずは失敗を恐れず、実行していただきたいと思っています。私もラグビーのように倒れても起き上がり、壁にぶつかっても前に進み、逃げない。そうすれば、夢はきっとかなうと信じています。
(取材・文/西 みやび)

燃ゆる感動 かがしま国体 「ぐりぶー広場」でダンス風エクササイズ Exseed と Exhike を披露！



Yumicaさんの生歌に合わせてExseedを披露



Yoko*さんの生歌、Issyさんのギターに合わせてExhikeを披露

このステージのために県外から駆け付けた山本名誉教授は「これまでの研究は個人でやるのがほとんどでしたので、それぞれの分野のプロの方々の力が結果としてチームとして作品を作り上げたのは初めてでした。Exhike」は私にとって、生涯最高の傑作です」と笑顔で会場を後にしました。

軽快なトークで来場者に呼びかけながら会場を盛り上げた梅准教授は「振動がこちらまで伝わってくるようで、生歌は本物感があって最高!!でした」。高井教授は「これまでの研究成果が社会に還元される瞬間に立ち会えて、うれしかったです」とコメントしました。

鹿屋体育大学とKKB鹿屋島放送が共同で開催を進めているダンス風エクササイズ、5分間の運動で体力UPの「Exseed(エクシード)」と、登山・ハイキングの体力づくり「Exhike」を、昨(エクスハイク)を、昨年10月に開催された「燃ゆる感動 かがしま国体」のイベントの一環として「ぐりぶー広場(鹿屋島市)」でお披露目しました。司会進行は本学の梅ちか子准教授(スポーツ人文・応用社会科学系、ダンス部顧問教員)が務め、「Exseed」の開発に携わった高井洋平教授(スポーツ生命科学系)、同じく「Exhike」を開発した山本正嘉本学名誉教授がネーミングの由来やコンセプト等について解説しました。

kotobuki Driving School 寿自動車学校. 自宅・アルバイト先, 自動車学校, 学校・寮. 心豊かな車社会を願う 寿自動車学校. TEL 0994-43-2627

Kubota 農業機械 株式会社 三ツ木商会. http://www.mizuho.kubota.ne.jp. 鹿屋市 高井・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理. 水質安全に 全力投球. 西日本浄化サービス. 鹿屋市 許可

あなたの町に、レモンガス. 株式会社レモンガス かがしま 鹿屋支店. 鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

11月11日と12日の2日間、鹿屋体育大学の学園祭「蒼天祭」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となった2020年以来、4年振りに一般にも開放した今回は、多くの学生や教職員、一般来場者が集まり、久しぶりの大きなにぎわいを見せました。

ステージでは、蒼天祭名物企画「マッスルコンテスト」をはじめ、「歌うまコンテスト」「BINGO

マッスルコンテスト



4年ぶりに一般来場者も集い

『蒼天祭2023』を にぎやかに開催！

○大会「スポーツ×こ」とは「コンクール表彰式」「ダンス部パフォーマンス」など、さまざまなイベントが行われました。また、「ネルソンズ」「すずる」「ZAZAY」「ハナコ」「チムニー」を迎えたお笑いライブでは、多くの観客が集まり、終始笑いの渦に包まれました。会場に設けられた模擬店には留学生や若手職員有志の会（Thank U 会）の出店したほか、企業出店による飲食の販売が行

学長杯破魔投げ大会



われ、学生が友人らとともに美味しくそうに頬張る姿も見られました。そのほか、大学の教育研究に関するパネル展示や、SPORTTECSポーツパフォーマンス研究センターの見学・機器の体験会、Blue Winds主催のカレッジスポーツデー、スポーツ庁及びUNIVASの委託事業による蒼天祭×ミッションウォーク、破魔投げ保存会の共催による学長杯破魔投げ大会な

ダンス部パフォーマンス



ども同時開催されました。学生の課外活動団体も体験ブースを設置し、それぞれの競技の特色を十分に発揮した個性豊かな催しとして、多くの来場者が体験を楽しんでいました。

大学祭を楽しむ「見る」スポーツをする「見る」ことができるのは、本学の蒼天祭ならではの魅力です。来年度以降の開催においても、引き続きみなさまのご来場をお待ちしております。

令和5年10月1日付でスポーツ生命科学系に着任しました赤澤と申します。鹿児島で生まれ育ち、筑波大学（研究員・助教）、国立スポーツ科学センター（研究員）、早稲田大学（助教・講師）を経て、この度、本学の准教授に就任することになりました。20年近く経って、鹿児島に戻って凱旋した気持ちで大変うれし



スポーツ生命科学系准教授
あかざわ 赤澤 暢彦

く思っております。鹿屋市での生活は初めてですが、慣れ親しんだ地元が、これから新たな教育や研究に挑戦するのが楽しみです。

専門はトレーニング科学で、生理・生化学アプローチの認知機能とコンディショニングの向上や高齢者の動脈硬化と認知症の予防に関する研究をしています。また、アスリートのトレーニングサポートや総合型地域スポーツクラブなど現場での活動にも従事してまいりました。これからも、このよ

令和5年10月1日付で施設課整備係に配属になりました久保山雄樹と申します。出身は福岡県筑紫野市です。鹿屋の地は初めてですが、自然が豊かで、鹿屋体育大学の学生さんたちのさわやかな挨拶がとても印象的です。この素敵な職場で働ける喜びを感じ



施設課整備係
くぼやま 久保山 雄樹

前職とは異なる経験のない業務で分からない点も多くあるため、早く業務を覚え、学びやすく快適な環境づくりや鹿屋体育大学の発展に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。プライベートでは、吾平山上陵や荒平天神等の鹿屋の観光地を回って、もっと鹿屋のことを知りたいと思っています。

不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけする場面が多々あると思いますが、1日でも早く業務を全うできるように精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



剣道部

私たちが剣道部は、男子94名、女子35名、計129名で活動しています。前阪先生、竹中先生、下川先生の下、通常、月曜日から土曜日の週6日間稽古を行っています。創設当初から部員数は学内最大規模であり、大学在学期間を「剣道の理念」に基づいた修行として捉え日々の稽古に励んでいます。

来年度に向けて部員全員が努力し、一丸となり目標達成に向けて精進しています。また、目標とは別に剣道の理念にもある人間形成を大切にしています。試合での勝敗も重要視していますが、相手を敬う気持ちや礼儀を重んじる精神を持ち合わせることも大事にしています。

私たちの目標は男女ともに全日本学生剣道大会の団体戦で優勝することです。本年度は、女子が準優勝、男子はベスト8と目標にはあと一歩届きませんでした。しかし、

今後も一人一人課題に対し、試行錯誤を繰り返しながら稽古に励み、目標が達成できるように日々の部活動に取り組みたいと思います。

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る
SUGOHAKU
【厚盛デジタル加飾システム】-KIRAMEKI-

印刷物へ
新たな付加価値を
厚盛クリアニスの上に箔を加飾させることで、盛り上がった立体的な加飾加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がりに。

パッケージ・パンフレット・ポスター etc.に、ご利用いただけます。

厚盛デジタル加飾により盛り上がった加飾加工
厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャ感

鹿屋市礼元1丁目22-34
0994-43-2238
URL http://www.shinsei-p.co.jp E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

まっすぐに。正直に。
たいかい
大波酒造株式会社
〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

〇飲酒は20歳になってから。
〇飲酒は楽しく、適量を。
〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
〇飲酒運転は法律で禁止されています。

すべての消費者のために!!

MOVE
This is your future
寿スポーツ
BEFOREST

鹿屋市新川町603-2
TEL 0994-44-2123

闘いの記録 (令和5年9月～11月)

【陸上競技部】

■第51回九州学生陸上競技選手権大会
(9/22～24 福岡/久留米総合スポーツセンター陸上競技場)

▽男子 十種競技 1位 山崎 時弥

■第8回九州学生陸上競技新人選手権大会
(10/14～15 長崎/島原市営陸上競技場)

▽男子 100m 1位 山下 昌峻
三段跳 1位 中村 勇斗

▽女子 円盤投 1位 廣井 楓

【硬式野球部】

■第110回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会決勝トーナメント
(10/7～9 宮崎/小林市総合運動公園野球場、王子原運動公園野球場)

1位 鹿屋体育大学

【テニス部】

■2023年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 (男子77回)
(9/30～10/4 愛媛/愛媛県総合運動公園テニスコート)

▽男子 ベスト8 鹿屋体育大学

【サッカー部】

■第19回アジア競技大会 (9/20～10/7 中国/杭州)

▽男子 2位 吉田 真那斗 ※他団体選手と出場

【体操競技部】

■第19回アジア競技大会 (9/24～29 中国/杭州)

▽男子 種目別あん馬 2位 津村 涼太
団体総合 2位 津村 涼太 ※他団体選手と出場

■第66回九州学生体操競技新人大会
(10/28～29 福岡/北九州市立総合体育館)

▽男子 種目別ゆか 1位 佐々木 勇太郎
種目別平行棒 1位 布袋屋 博和
種目別あん馬 1位 笹本 凜
種目別鉄棒 1位 高根 優晟

▽女子 個人総合 1位 濱上 みやび
種目別平均台 1位 濱上 みやび

■第77回全日本体操団体選手権 (11/26 三重/四日市市総合体育館)

▽男子 団体総合 7位 鹿屋体育大学

【水泳部】

■第65回日本選手権 (25m) 水泳競技大会
(10/21～22 東京/東京アクアティクスセンター)

▽女子 50m自由形 6位 久保田 梨琉

【柔道部】

■第73回 (令和5年度) 九州地区大学体育大会 (11/26 福岡/福岡武道館)

▽男子 1位 鹿屋体育大学

【剣道部】

■第71回全日本学生剣道優勝大会 (11/5 大阪/Asueアリーナ大阪)

▽男子 ベスト8 鹿屋体育大学

■第42回全日本女子学生剣道優勝大会 (11/12 愛知/春日井市総合体育館)

▽女子 2位 鹿屋体育大学

【自転車競技部】

■第7回全日本学生選手権オムニウム大会 (11/25～26 千葉/TIPSTAR DOME CHIBA)

▽男子 オムニウム 1位 梅澤 幹太

【なぎなた部】

■第48回西日本学生なぎなた選手権大会 (11/19 鳥取/鳥取県立武道館)

▽女子 演技の部 2位 宮城、村田
3位 國光、秋葉
団体試合の部 2位 鹿屋体育大学C

【ウインドサーフィン部】

■2023年度全日本学生ボードセーリング選手権新人戦九州支部予選 (9/30～10/1 大分/住吉浜リゾートパーク沖合)

▽男子 ビギナークラス 1位 福 天海

【パベル部】

■2023年第57回全日本学生ボディビル選手権大会 (9/30 埼玉/深谷市民文化会館)

▽男子 フィジーク176cm以下級 4位 宇地原 亮

◎特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体2023 (9/16～24、10/7～17)

■陸上競技 (10/13～17 白波スタジアム)

▽成年男子 800m 8位 佐藤 主理 (大分県)
▽成年女子 800m 8位 渡部 鈴夏 (島根県)

■バレーボール6人制 (10/8～11 平和公園串良平和アリーナ)

▽成年女子 4位 鹿屋体育大学 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■サッカー (10/12～15 志布志運動公園陸上競技場)

▽成年男子 2位 鹿屋体育大学 (鹿児島県)

■体操 (競技) (9/21～24 西原商会アリーナ)

▽成年男子 団体総合 1位 金田、杉野 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

▽成年女子 団体総合 6位 植村、北野、碩山 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■水泳 (競泳) (9/22～24 鴨池公園水泳プール)

▽成年男子 100m平泳ぎ 5位 櫻田 大己 (鹿児島県)
4×50mフリーリレー 3位 市村 優弥 (北海道) ※他団体選手と出場
4×100mメドレーリレー 6位 櫻田 大己 (鹿児島県)

※他団体選手と出場

直江 篤樹 (三重県) ※他団体選手と出場

久保田 梨琉 (千葉県) ※他団体選手と出場

久保田 梨琉 (千葉県) ※他団体選手と出場

久保田 梨琉 (千葉県) ※他団体選手と出場

久保田 梨琉 (千葉県) ※他団体選手と出場

後野 真衣 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■剣道 (10/8～10 霧島市牧園アリーナ)

▽成年男子 1位 木村、竹中[教員] (鹿児島県) ※他団体選手と出場

▽成年女子 1位 下川 美佳[教員] (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■セーリング (10/8～11 鹿児島市平川特設セーリング会場)

▽成年男子 470級 7位 北 修紋 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■ローイング (9/21～24 鹿屋市輝北ダム特設ローイングコース)

▽成年女子 シングルスカル 8位 清水 凜 (鹿児島県)
ダブルスカル 6位 黒木 秀里 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

■自転車 (10/11～15 根占自転車競技場)

▽成年男子 スクラッチ 4位 並江 優作 (佐賀県)
ポイントレース 3位 梅澤 幹太 (愛媛県)
1kmタイムトライアル 8位 伊澤 将也 (神奈川県)
4kmチーム・パーシュート 2位 津留 峻 (鹿児島県) ※他団体選手と出場

▽成年女子 500mタイムトライアル 2位 中西 美央 (岡山県)
ケイリン 4位 年見 穂風 (宮崎県)
チームスプリント 5位 岩元 美佳 (宮崎県) ※他団体選手と出場

■なぎなた (10/14～16 枕崎市立総合体育館)

▽成年女子 演技 1位 秋葉 笑里 (鹿児島県) ※他団体選手と出場
試合 6位 秋葉、村田 (鹿児島県) ※他団体選手と出場
試合 8位 川添 郷香 (宮崎県) ※他団体選手と出場

◎特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会2023 (10/28～30)

■陸上競技 (10/28～30 白波スタジアム)

▽女子 100m 1位 山口 乃愛 (鹿児島県)
走幅跳 1位 山口 乃愛 (鹿児島県)



左から平川理事・副学長・事務局長、金久学長、チェンさん、国重教授、前田理事・副学長

外国人日本語スピーチコンテスト 最優秀賞! 留学生 チェンさんが

「第5回外国人日本語スピーチコンテスト」(主催・鹿屋市国際交流協会)が昨年10月に鹿屋市で開催され、本学留学生のチェンイーチェン(陳怡禎)さん(台湾・鹿屋体育大学博士後期課程3年)が最優秀賞を受賞しました。前回は惜しくも2位の「優秀賞」だったチェンさんですが、夏の終わりに体調を崩して参加自体をあきらめていたところに、チェンさんに英語と日本語の指導をして

「第5回外国人日本語スピーチコンテスト」(主催・鹿屋市国際交流協会)が昨年10月に鹿屋市で開催され、本学留学生のチェンイーチェン(陳怡禎)さん(台湾・鹿屋体育大学博士後期課程3年)が最優秀賞を受賞しました。前回は惜しくも2位の「優秀賞」だったチェンさんですが、夏の終わりに体調を崩して参加自体をあきらめていたところに、チェンさんに英語と日本語の指導をして

授(スポーツ人文・応用社会学系)から「今年も出てみたら」と背中を押してもらって出場し、見事トップの座を獲得しました。後日、国重教授とともに金久博昭学長、前田明理事・副学長、平川康弘理事・副学長、事務局長のもとを訪れたチェンさんは、今年のスピーチコンテストでは「異文化での深い交流や経験を通して考えたこと」をテーマに、台湾と日本の文化について昨年よりもさらに掘り下げてスピーチしたと話しました。具体的にはマスクの色の違いについて、日本人は白いマ

クをして人々がほとんどですが、台湾にはさまざまな色やデザインのマスクがあり、好きな服を着て出かけるようにその中からお気に入りのマスクをして出かけることを楽しんでいっていること。もうひとつの話は、友達との関係づくりの違いについて。日本人との関係づくりは難しく、自分でも仲良くなったつもりでも次に会った時に「私何か悪いことをしたかな?」と悩んでしまうこと。自分がよくあり、自分なりに分析した結果、日本人は自分の気持ちを台湾人は自分の気持ちで表現しないので、最初は距離感を感じられるけれど、ステータスをひとつ一つクリアしていくゲームのように時間をかけていけば、真の友達になれるという考えが付けました。これらについて、5分間にまとめること

チェンさんは「昨年のリベンジを果たせて、最優秀賞を受賞することができてとてもうれしかったです」と、受賞の喜びを話しました。いつも笑顔でフレンドリーなチェンさん。これからも学内外で日本人との間に、多くの友情が芽生えること

第19回アジア競技大会(杭州・2023年)の男子団体総合、男子種目別あん馬でそれぞれ銀メダルを獲得した体操競技部の津村涼太さん(スポーツ総合課程3年、暁高等学校・三重)が、山下龍一郎部長、中谷太希監督とともに金久博昭学長に受賞報告を行いました。「今まで見てきたなかでも最も重量感のあるメダルですね。実際にメダルを手にとった学長が口火を切ると、津村さんは「パリオリンピックの選考会を控えているので、今は世界も同時に見据えながら頑張りたいと思います」とコメントしました。学長からは「本学はアテネで金メダルを獲得した柴田亜衣さん以来、学部生からオリンピックメダリスト

が出ていませんが、津村さんはそれを狙うことができる位置にいると思います。これから寒い季節となるため、怪我には気を付けて、パリオリンピックに出場して良い成績を残すことができるようにこれからも頑張ってください」と激励しました。

年末に津村さんに新年の抱負についてのコメントをお願いすると「2023年はアジア競技大会に出場することができた。飛躍の年になりました。多くの方に、津村涼太を知ってもらえることができた。2024年はパリオリンピックの年になります。初めてのオリンピック選考を経験するので、緊張感も多くあると思いますが、自分らしい思い切った演技で存在感を示していきます! 2023年の勢いそのまま、得意種目である、あん馬、つり輪、跳馬を軸に必ず代表に入ることができるように頑張ります。これからも応援よろしくお願いします」と話しました。2024年も津村さんから目が離せません。

津村涼太さん、中谷監督、金久学長、山下部長

津村涼太さん、中谷監督、金久学長、山下部長



左から山下部長、金久学長、津村さん、中谷監督